

施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	Ⅲ-1-(5)
政策体系	施策名	「知の拠点」としての大学等との連携	所管部局名	企画振興部	
	政策名	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工観光労働部	
				長期総合計画頁	131

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域課題解決に向けた県内外の大学等との連携の推進	県立看護科学大学の魅力づくり	県立芸術文化短期大学の魅力づくり

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i 県と県内大学等の連携事業数(件)	①②③	H26	100	165	169	102.4%	190					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	大学・短大・高専、市町村、経済団体、企業、関係団体等で構成する「大学等による『おおいた創生』推進協議会」を中心として、地域活性化をテーマとした教育研究活動や学生向け業界研究セミナーの実施など、様々な事業に取り組んだ結果、目標値を達成した。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・県内大学が連携して、地域課題の解決に取り組み、地域が求める人材育成のための教育プログラムを実施することで、行政だけでなく、県内企業との共同研究・受諾研究が増加し、R1年度は67件(H26年度:50件)となった。
②	・看護科学大学では、県内病院の約90%を占める200床以下の中小規模病院の看護管理能力を高めるため、南部地域と北部地域において、看護部長等看護管理者に対する研修会等の支援を実施した。
③	・芸術文化短期大学では、教育プログラム及び就職・進学支援体制の充実により、就職率98.0%、進学率97.9%となり、いずれも目標の90.0%を大きく上回った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	大学等連携活性化事業	104.9	282
②	公立大学法人運営費交付金(看護科学大学)	100.0	282
③	公立大学法人運営費交付金(芸術文化短期大学)	105.0	282

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○R1年度第1回大分県地方独立行政法人評価委員会(R1.8)</p> <p>・芸術文化短期大学においては、共通教育、専門教育の充実及び地域との実践型の主体的学修活動が学修成果と就職・進学結果へと結びついている点が評価できる。人材育成とコンテンツ創出の拠点として未来への期待や負託を県民から受けつつあるものと高く評価できる。</p>	<p>○R1年度第1回大分県地方独立行政法人評価委員会(R1.8)</p> <p>・理事長のリーダーシップの下、日本の看護教育の先駆的な取り組みのみならず、大学及び大学院の教育基盤整備に向け、DP(卒業認定方針)及びCP(教育課程方針)の検証及び改善、教育の質向上など組織的に実施されており、大学運営等に関しても、柔軟性をもって、教職員協働により学修環境の向上に努力している。</p>
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・教育、産業、福祉、医療など様々な分野の地域課題解決に向け、大学等の魅力づくりや学生による地域での実践型活動の展開などについて、県内大学等との連携を推進する。</p> <p>・県立看護科学大学では、専門性と豊かな人間性、実践能力を備えた看護職の育成や社会的な課題解決につながる研究成果の創出のため、教育・研究内容や施設設備の充実を図るとともに、質の高い看護職の県内輩出や健康長寿の社会づくりへの寄与などを通じた社会貢献、教育・研究における国際交流等により、魅力ある大学づくりを推進する。</p> <p>・芸術文化短期大学では、県立美術館、県立総合文化センター、自治体など関係団体と連携し、県民の芸術文化の向上に取り組むほか、地域の様々なプロジェクトへの参加を通じ、地域創生人材を育成する。また、R2年度末の完成を予定しているリニューアルしたキャンパスを活用して、地域に開かれた魅力ある大学づくりを推進する。</p>